

ちむぐるプラン

第一次南風原町地域福祉推進計画

平成29年度評価

評価「C」および「D」の
内容と対応策



基本目標	1 共に支え合えるまちづくり	
	(1) 豊かなコミュニティの基盤づくり推進	
	④自治会加入促進	
推進項目【Plan：計画】		
より多くの住民が参加していけるよう、自治会の必要性についての啓発や活動内容、活動の楽しさについて、自治会と連携した情報発信の充実を図る。		
達成目標	担当課	
自治会と連携し、自治会の必要性・活動の内容・楽しさの情報発信を行う。	総務課	
取り組み実績【Do：実行】		
自治会加入促進の取り組みとして町民ホールに掲示板を設置し、自治会のイベント情報の発信を行った。		
取り組みの検証【Check：検証】		
自治会のイベント情報を発信しているが、掲示していない自治会があるため全自治会が掲示し情報発信ができるよう取り組んでいく必要がある。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
今後は、全自治会の最新の情報発信ができる様に自治会と連携し取り組んでいく。		

基本目標	1 共に支え合えるまちづくり	
	(1)豊かなコミュニティの基盤づくり推進	
	④自治会加入促進	
推進項目【Plan：計画】		
転入手続きの窓口においては、自治会の紹介や自治会への橋渡しをするなど、自治会加入のための支援を行う。		
達成目標	担当課	
住所異動の窓口で自治会の紹介を行い、加入のための支援を行う。	総務課	
取り組み実績【Do：実行】		
転入届手続き時に自治会加入促進チラシを配布。		
取り組みの検証【Check：検証】		
各自治会による加入促進のための取り組みも必要。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
転入届手続き時のチラシを配布および町広報誌による加入促進啓発。		

基本目標	1 共に支え合えるまちづくり	
	(1)豊かなコミュニティの基盤づくり推進	
	④自治会加入促進	
推進項目【Plan：計画】		
自治会の加入率アップのために、地域と行政が共に検討する場をつくり、自治会の取り組みに対し必要な支援を行う。		
達成目標		担当課
自治会加入促進に取り組み、H30年度までに自治会加入率を70.0%にする。		総務課
取り組み実績【Do：実行】		
定例の区長会のなかで自治会加入促進についての話し合いを行う。		
取り組みの検証【Check：検証】		
自治会の要望により加入促進横断幕を作成、各自治会へ配布。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
自治会と連携し加入率向上の取り組みを行う。		

基本目標	1 共に支え合えるまちづくり	
	(1) 豊かなコミュニティの基盤づくり推進	
	⑤地域活動の活性化推進	
推進項目【Plan：計画】		
地域活動のあり方について、多様な世代との意見交換を行うとともに、各世代で役割を分担するなど、地域活動を組織的に推進する体制づくりを地域に働きかける。また、地域の要請に応じて、必要な支援を行う。		
達成目標	担当課	
地域活動のあり方について、多様な世代と意見交換を行う。	企画財政課	
取り組み実績【Do：実行】		
町民のニーズを把握し、町民の声を反映した町政運営を行うことを目的に、山川区と神里区で行政懇談会を開催し、地域から46人の参加がありました。		
取り組みの検証【Check：検証】		
区長会において、行政懇談会の案内を行っているが、開催を要望した地域は2地域で、全体の10%程度となっている。 開催にあたっては、意見交換の内容や取組方法について工夫を図る必要がある。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
行政懇談会の開催案内の説明を年に複数回設けると共に、開催した内容などを広報やHPなどを活用し広く町民にPRできるように取り組む。 また、「協働のまちづくり」を推進する事業提案など、新たな取り組みに対する意見交換についても検討していく。		

基本目標	3安心・安全な人にやさしいまちづくり	
	(3)防犯・事故防止対策の推進	
	③情報の提供と見守り等支援の推進	
推進項目【Plan：計画】		
地域住民や団体等による、主体的な防犯活動を積極的に支援する。		
達成目標	担当課	
主体的な防犯活動を積極的に支援する。	総務課	
取り組み実績【Do：実行】		
各字の老人クラブが行っている、地域見守りパトロールに対して、補助を行った。		
取り組みの検証【Check：検証】		
広報だけでなく、各字が行っている防犯活動に対して、支援できるか検討していく。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
各団体がどのような防犯活動を行っているか、全容を把握できていないため、その把握に努める。		

基本目標	3 安心・安全な人にやさしいまちづくり	
	(4) 防災対策の推進	
	②災害時要援護者支援体制の構築	
推進項目【Plan：計画】		
障がい者や高齢者等の災害時要援護者については、災害時要援護者登録を促進し、警察や消防、医師会及び地域の関係機関・団体が要援護者の情報を共有、地域との連携を図り、要援護者の安否確認や避難誘導體制の構築、避難場所での健康管理、その他必要な救護・救済の体制を構築する。		
達成目標	担当課	
災害時要援護者登録の促進、共有、連携を図る。要援護者の安否確認等の体制構築、避難場所での健康管理を行う。	総務課	
取り組み実績【Do：実行】		
要支援者の避難誘導體制構築のため災害時要支援者個別計画策定に着手した。		
取り組みの検証【Check：検証】		
計画が未策定なままのため、引き続き策定にむけて調整及び保健福祉課の補助を行っていく。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
引き続き策定にむけて調整及び保健福祉課の補助を行っていく。		

基本目標	3安心・安全な人にやさしいまちづくり	
	(4)防災対策の推進	
	③災害時要援護者避難支援計画の策定	
推進項目【Plan：計画】		
<p>災害時要援護者の避難支援等を適切かつ円滑に実施できるよう、本町の災害時要援護者避難支援対策について、基本的な考え方や進め方を明らかにし、自助、共助、公助の役割分担や連携を明確にするために、災害時要援護者避難支援計画を策定する。</p>		
達成目標	担当課	
<p>災害時要援護者避難支援対策について、基本的な考え方や進め方を明らかにし、災害時要援護者避難支援計画を策定する。</p>	総務課	
取り組み実績【Do：実行】		
<p>災害時要支援者全体計画の策定に着手した。</p>		
取り組みの検証【Check：検証】		
<p>災害時要支援者個別計画において、引き続き策定にむけて調整及び保健福祉課の補助を行っていく。</p>		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
<p>引き続き策定にむけて調整及び保健福祉課の補助を行っていく。</p>		

基本目標	1 共に支え合えるまちづくり	
	(1) 豊かなコミュニティの基盤づくり推進	
	① あいさつ、声かけ運動の推進強化	
推進項目【Plan：計画】		
身近な所からあいさつや声かけをはじめ、町全体で展開されるよう、地域の関係機関・団体等と連携した「あいさつ、声かけ運動」の推進強化を図る。		
達成目標	担当課	
「あいさつ、声かけ運動」の推進強化を図り、近所づきあいが減っていると感じる割合を平成30年度までに45.0%に減らす。	総務課	
取り組み実績【Do：実行】		
一部の団体や個人においては、早朝のあいさつや登下校時のあいさつ運動は実施されている。		
取り組みの検証【Check：検証】		
各種団体との連携を行うことができず、全体行動として推進を図る事が出来なかった。		
今後の取り組みの方針【Action：改善】		
今後は、教育委員会や各種団体と連携し全体行動として推進を行う。		